

平成30年度事業報告書

一般社団法人和乃絆
就労移行支援事業所マイパレット

1 事業の方針

当法人は、利用者一人ひとりの社会自立を支援するための、支援充実を目指します。社会の一員の育成とサポートと生涯学習の支援、地域活性化を目指しています。セミナーやイベントなどを通して、人との絆を結び、自分なりのライフスタイルを見つけ、いくことを支援します。「こんなことを学びたい!」「人と触れ合いたい!」そんな思いを支えていく事業運営を目指しています。

2 事業所名及び所在地

就労移行支援事業所マイパレット 和歌山県和歌山市内原726-13

3 従業者の人数（平成30年12月25日現在）

管理者 1名（常勤兼務）

サービス管理責任者 1名（常勤兼務）

就労支援員 1名（常勤専従）

生活支援員 4名（常勤専従1名，非常勤専従3名）

職業指導員 2名（非常勤専従1名，非常勤兼務1名）

ジョブコーチ 1名（非常勤兼務）

4 契約利用者数

のべ23名（現在利用者数7名：平成30年12月25日時点）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規利用者数	4名	9名	3名
一般就労（就職）	3名	7名	5名
ジョブコーチ配置		4名	6名
福祉的就労	-	1名	0名
途中退所	1名	2名	0名

一般就労：のべ15名（内定：3名、就労継続中：8名、離職：4名 ※うち福祉的就労3、転職1）

5 事業報告

① 事業所内作業

前年度と同様に内職作業を中心に袋詰めや検品など流れ作業の工程を体験してもらっています。そのほか、不定期ではありますが、NPO法人わたぼうしくらぶをはじめイベントのチラシ作成なども委託業務として実施しています。「近畿自治体フォーラム」や「海草圏域でのシンポジウム」など大きな会のフライヤー作成の委託もありました。

また、オーグス総研が展開している社会貢献活動の1つである「はじまるくんプロジェクト」（企業の中古PCをリフレッシュして地域の福祉事業所に無償提供するプロジェクト、このリサイクル作業を委託業務として当事業所で実施する）に参加し、クリーニングやクローニング作業を委託されました。（第9回DGG寄贈PG20台）のPGに参加し、贈呈式への出席も行いました。

かねてより、お世話になっている株式会社KUSUNOKIから受託されたもので、めだかや水草などを商材にして、通信販売を平成30年8月1日から運用を始めていますが、ノウハウの確立までに至っていません。今後は、ECサイトに掲載される商材の検討していく必要があると感じています。

協力先：株式会社ヤエパック、小久保工業所、NPO法人わたぼうしくらぶ、株式会社オーグス総研（はじまるくん）

② PC技能訓練

商業高校などで採用されている「日本情報処理検定」の検定試験に取り組み、主にWordとExcel操作の訓練を週2回、主に月・金の午後に実施します。日本情報処理検定試験は、年2回（7月、12月）実施し、今年度は、紀北支援学校の在校生の参加も7月に1人、12月に3人（紀北支援）、と1人（和附属）の参加、がありました。関心を示してくれていた和附属支援学校や紀伊コスモス支援学校の先生もおりましたので、今後も支援学校を中心に周知を図って参りたいと思っております。

6月に雇用開発機構主催で実施されているアビリンピック（障がいを持つ方技能競争会）への参加では、1名が知事賞（ワード・プロフェッサ部門）に選ばれ、沖縄県での全国大会（11月）へ出場しました。今後もアビリンピックを通して、労働政策課や職業訓練校との連携も図っていきたいと考えています。

③ 施設外就労

指導員が引率し、実際に企業に出向いて就労を行っています。平日の午前中は、紀三井寺公園の清掃業務を請け負い、毎水曜日、金曜日に半日ずつ請け負っていた観賞魚の養殖用水槽の洗浄作業は、毎金曜日に変更し、請け負いを継続しています。紀の国はまゆう（公園清掃）では、平成30年4月より工賃の拡充を受け入れていただいております。

また、より重点をおいて支援の拡充を図るべく、職員体制1名を原則としていたところ、2名を原則に変更して取り組んでおります。株式会社KUSUNOKI（観賞魚の養殖用水槽洗浄）より、一時期は農作業（草ひきなど）の請負も行いました。今後は、連携企業先を増やすことについては慎重に図るべきだと考えております。

協力先：紀の国はまゆう、株式会社KUSUNOKI

④ 企業等実習・就労体験

就労体験の実施件数は前年度と比較して、4分の1程度です。ただ、合同面談会などへの参加は倍増しており、企業の人事担当者と知り合う機会は体感的には充分だったと感じています。今年度は、和歌山市のインターンシップ事業の活用も積極的に取り組みましたが、支給決定が和歌山市の方に限られることもあり、活用できないケースも多々ありました。これまで障害者雇用枠などの取り組みを熱心に行っている企業からは、インターンシップ制度など活用できる制度についての説明や活用を求められるケースも多く、その都度、関係機関に同行していただくなど過不足ない説明ができるようフローチャートなど一定のマニュアル整備にも取り組んでいく予定です。また、新規開拓のためのアポイント業務が煩雑になり、特にテレアポイントについては記録の整備を拡充していく必要性を感じています。前年度と比較して、就労につながるという点を重視した体験の設定に留まっており、次年度はごく体験的な機会をより拡充していくよう、職員体制の整理など準備して参りたいと思っております。

企業等実習および就労体験受入事業所

ガーデנקリエイト本社工場、紀陽ビジネス株式会社、
児童発達支援エトワル、株式会社南北、ほっと生活館しんぼり、
㈱オルト、大東建託、一般社団法人ウインワークス、GreenBeans、
たちばな幼稚園、地域密着型特別養護老人ホーム冬野の郷

⑤ 職業訓練

前年度の反省を踏まえ、サポステわかやまや労働局、泉州広告、職業センター主催の研修に参加する機会を拡充しました。特に職業センターで開催されていたストレス対処講習（認知行動療法）では、特定の利用者さんに対して有効だが、事業所全体で取り組むことは難しいのではないかとと思われる内容も個別対応し、必要に応じて、事業所内で活用することができたと思われまます。株式会社バリエによる介護職員初任者研修も年2回開催していただくことができました。自己分析の機会が必要だと感じるケースが多かったため、何らかの機会を定期的に設けることができるよう工夫していく予定です。

⑥ 事業所内活動

理事を講師に招いて開催しておりました「ビジネス基礎」は、SSTと重複する部分も多いため、開催を延期しており、現在講師は、「ペン習字」のみです。「家庭生活」に重点を置く計画がありましたが、平成31年度より「自立支援教室ひだまりカフェ（自立訓練・生活訓練）」の開所に伴い、就労移行支援事業で取り組んでいた「家庭生活」の内容を見直し、「SST」の時間を用いて、行うよう変更する予定です。

⑦ 新規利用者の確保について

新規利用者さんのきっかけは、関係機関からが目立ちました。特に海南圏域の就業・生活支援センターからの紹介件数が大半でした。和歌山市内の就業・生活支援センターからの紹介件数は0であり、連携が充分とはいえません。改善点が明確に精査できていないところがありますが、こちらから足を運び、連携のきっかけ作りに励みたいと思っております。

⑧ まちライブラリーについて

平成30年6月より、法人の職員が講師を務めた「ヨガ教室」の開催をしており、地域の方の参加がありました。事業とは別に取り組み、いただいた講座料（1講座500円）は、まちライブラリーの活動に使用する椅子などの物品購入に充てています。平成30年10月からは、小細浩子先生によるらくらくピアノの講座を地域向けに1か月2回、事業所の関係者向けの講座は無償で2か月1回開催しています。

あいサポーター養成研修（9/21）を開催し、不登校に関する研修会（10/16）を開催し、啓発活動にも努めています。特にあいサポーターについては、関心を示して下さる方が多く、定期的に開催していけるような取り組みを計画しています。

⑨ 地域に開けた事業所作りについて

- ・ 5/17（木）はまゆう杯ソフトボール大会（紀三井寺公園にて）
- ・ 6/23（土）アビリンピック和歌山大会（ポリテクセンター和歌山）
- ・ 7/28（土）めだかと夏祭り@マイパレット（紀三井寺公園にて）
- ・ 9/13（木）はまゆう杯ソフトボール大会（紀三井寺公園にて）
- ・ 9/21（金）あいサポーター養成研修（マイパレットにて）
- ・ 10/16（火）不登校に関する研修会（マイパレットにて）
- ・ 11/24（土）ふれあい人権フェスタ（和歌山ビッグ愛にて）
- ・ 11/2（金）～5（月）アビリンピック全国大会（沖縄県）

イベントの主催や事務局を担い、今後とも、障害者福祉の啓発活動にもつなげていきたいと考えています。

以上